

ア・マ・テ・ラ・ス

2022年経営指針書

持続可能な2030年に向けて

(目次)

2P	はじめに
3P	経営理念
4P	2030年ビジョン
5P	2030年までに起こりうること

6P—10P 持続可能な2030年のための 経営方針**【目標達成のための普遍的戦略的方針】****【市場創造に関する方針】****【資源調達と再利用・再資源化に関する方針】****【ワークライフバランスに関する方針】****【人財養成・財政基盤確立・社会投資、設備投資に関する方針】****【中小企業家同友会に関する方針】****【特定非営利活動法人ほっとねっとに関する方針】****【アースデイ奈良に関する方針】****【菜の花プロジェクトに関する方針】****11P—17P****2030年までの項目別目標・計画表****18P****2022年単年度 市場創造計画**

はじめに

（これまでのこと）

私にとって 1980 年からの 20 年間は進学、就職、結婚、出産などあって、自分の家族づくり、友達作り、主に伝えることに関わる仕事のキャリアづくりといったコア部分を形成した大事な時だったと思います。2000 年からはガラリと変わり、アルバイト先で誘われたことをきっかけに NPO 活動に奔走し続けました。

中でも「菜の花プロジェクト」「アースデイ」という一言でいえば環境活動に熱い思いで関わり続けてきました。2010 年からの 10 年間にご縁あって奈良県中小企業家同友会に入会して、思いがけず多くの経営者の皆さんから学びました。

そのような中で構築してきた人や団体との関係やノウハウの蓄積は膨大で、何物にも代えがたい宝物という喜びにひたります。ただ一方で、目に見えたさしたる成果をもたらすこともなく、身近な誰かに幸せをもたらしたということもなく、いったい 20 年間何をしてきたんだろうという思いもあります。

このように、自分にとっても世の中にとっても節目の今、20 年サイクルで今までを振り返る毎日です。であるならば、今後の 20 年間は命を無駄につかえないなあと痛感しています。今までのことを生かして、これからの 20 年間で意識して豊かな実りあるものにしていきたいとの思いを強く持つようになりました。そんな中最近、関わりのある 20 代の若い人から「私たちはこれからの 20 年間でどう生きるかだと思っています」との言葉をお聞きしました。時同じくして、年齢に関係なく同じことを思っていたわけです。自分や次世代の幸せな未来のために、今から 20 年間、中でも 2030 年までに実現させたいことは次の 3 つです。

（これからのこと）

一つ目、太陽エネルギーに関連した商品、サービスの小さくとも確実な市場創造です。

二つ目、その市場創造でもたらされる年間粗利 600 万円程度の思いがあれば挑戦できるマイクロビジネスモデルの確立です。

三つ目、家族や親しい人やお客様や関係先様が、「そこにいけば安心がある」と立ち寄れる場づくりです。

（経営指針作成にあたって）

2018 年に初めて指針書をつくった時と違うポイントが 3 つあります。

一つは、2021 年経営指針セミナーで同じグループだった方からのアドバイスで得た大きな気づきによって、屋号にも経営理念にも掲げている「太陽」に関する事業を全面に打ち出したことです。

もう一つも、2021 年経営指針セミナーで講師の方が「時間には限りがあるから、やれる分量にも限りがある」との当然と言えば当然の言葉から、優先順位をつけて、時間配分していかなければ中期的な目標を達成できないと気づき、目標に近づくために、今すぐできることも少しずつやりながら、NPO 活動をその後、後進に譲り手放していくために今年・来年の 2 年間は誰もが関わりやすい態勢づくりに時間を割き、3 年後から目標達成のための本格的な活動に入る計画としていることです。

それから、そのような NPO 活動などのア・マ・テ・ラ・スとしての位置づけや、目標達成に向けての戦略的なこと、大事にしたいことを方針として掲げるということを基本構造にしました。2018 年版および今期の税理士法人 trays・かなえ経営株式会社様の経営指針書をお手本として大いに参考にさせていただきました。

あまり複雑なことはできず、方針イコール中期目標となり、そのことの実現のために何をするかを列挙し、それをいつするかを簡易表にしました。

数値まで落とし込むところまでには至らない、他社からすれば未熟な指針ではありますが、私にすればやっとここまでできたかという、毎日見直すのにまずは十分なものができました。

〈経営理念〉

お日さまの恵みで
ヒト・モノ・コトが
和・輪・環(わ)になる
地域づくりに貢献します。

(思い描く未来の姿)

- *エネルギーの自給が進んで、全世界が相互に豊かになります。
- *良い言葉で、良い物事が伝わり、良い物事になって広がります。
- *わたしたちの周りのさまざまな物事が結びついて、みんなが幸せになります。

太陽

Mika Teramae

あなたはわたしの太陽ー。
いつも いつも
照らしてくれてる。
輝いてるわたしの横顔。
適度にあったかいわたしの背中。
もう慣れてるし、そう意識してるわけじゃない。
太陽が照らしてくれるのは、当たり前だしー。



わたしは あなたの太陽ー。
いつも いつも 照らしてるんだよー。
まあ、雨の日や あんまりぶ厚い雲のある日は
しょーがないでしょ。
まだ、まだ 未熟な太陽なもんで、
照らしすぎて暑くしちゃったり、
弱すぎる光で あなたの心にまで
届かない時もあるわけだけどー。
太陽が照らすのは 当たり前なんだから、
これからもず〜っと
あなたを照らしつづけるよ。
なんにもいわずに
ナチュラルな気持ちで
照らしつづけたいよー。

2030年ビジョン

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任

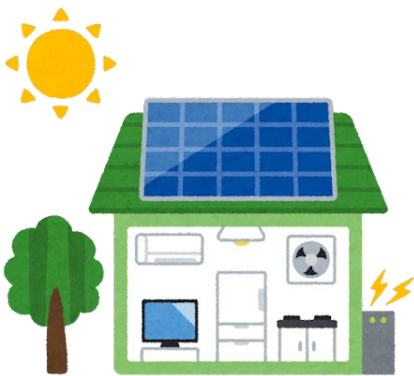




「電源自給」峠の茶屋



☆オフグリッド小屋（オフィス&サロン）、ソーラーPVステーション、農家レストラン 完成



ニチコン（株）様HPより引用

☆ポータブル電源（自動車関連機器含む移動型小型電源） 350万事業所の10% 35万事業所、5000万世帯の10% 500万世帯 5000億円市場

完全自立電源（オフグリッド小屋） 350万事業所の1% 3.5万事業所、5000万世帯の1% 50万1兆7000万円市場

その市場形成にア・マ・テ・ラ・スの多大な貢献があった。

うちア・マ・テ・ラ・ス 2030年までの取扱規模

・ポータブル電源 35万か所市場の0.1% 350か所、500万世帯市場の0.4% 2000件
8年間総売上5億3千500万円 年間粗利 660万円



・完全自立電源（オフグリッド小屋） 事業所・住宅合わせ 53万か所市場のうち 130件



室内型軽量蓄電池&
コンディショナー



☆年間粗利 600万円ビジネスモデル、 2人で月收入 20万生活モデルの確立
メイン従事者手取り 年間 120万円 年間留保 120万円 年間経費 120万円 年
間投資 120万円 年間人件費 60万×2人

☆週4日営業のオフィス・大豆、菜種、橘栽培の半農ライフ、気軽に立ち寄ってもらえる一汁一菜生活

☆菜種搾油・精油機械、バイオディーゼル燃料プラントの共同所有
(菜の花プロジェクトへの専念開始)



2030年までに起こりうること

2021年はウッドショック、半導体ショックという言葉がよく聞かれました。ガソリン代も高騰しました。そしてコロナショック、直近ではトンガ沖での海底火山爆発で世界中が震撼しました。今後も感染症の広がり、気候変動による災害リスクの高まりなどにより、海外からの資源調達に厳しいものになっていくことが予想されます。エネルギー自給率と食料自給率の低い日本では、電源・熱源・動力源のもとになる資源調達や食糧確保、とりわけ日本の伝統食である味噌、醤油、豆腐、納豆に必要な大豆の確保ができにくくなるのが危惧されます。災害の頻発により、電源・燃料を突然喪失する可能性が考えられます。

一方、奈良県では天川村が先駆的に温浴施設で薪ボイラーが使われ、地域の木材が活用されています。それに続いて近い将来、御杖村の温浴施設でも薪ボイラーが導入される予定で、地域資源が活かされることが期待されます。

世帯収入の全国的な状況は、21世紀に入っての正規・非正規雇用の収入格差に加え、コロナショックや災害などの不可抗力で内需が不安定になりがちなこと、いわゆる中流とされる年収400万-600万よりも少ない年収の世帯が、年金世代、若い世代の双方で多くなることが予想されます。「二人合わせて月収20万円確保する」というギリギリラインを誰にでも起こり得ることとして想定せざるを得ないと思われれます。

持続可能な 2030 年のための 経営方針

【目標達成のための普遍的戦略的方針】

☆質素に・シンプルに・しなやかに最強の暮らしをつくる

(質素) 贅肉がない。余計なものを買わない。量が少ない。収入>支出。

(シンプル) 自分でできることを全うする。複雑な考えも簡単・平易にして伝える。屈折・ゆがみ・ひっかかりがなく、明快。未来と今に目を向ける。余分な前振り、言い訳などが無い。余計なものがない。整然とした時間配分。自分の立ち位置・守備範囲が誰が見ても明確。

(しなやかに) 柔軟性がある。固定観念にとらわれず、みんながやりやすいやり方。曲線的。やわらかい言葉、やわらかい物腰。第3の道を提案する。縦横無尽＝プロフェッショナル。マニュアルはあるが、個別対応的。

☆思い描き→インプット→アウトプット→振り返り のサイクルを繰り返し、深化発展させる。

【市場創造に関する方針】

1. 太陽エネルギーを生かす暮らしのための機器・設備・システム販売に特化した事業展開で市場を創造する。

その実現のために行うこと **8年かけて順次**

- (1) 建物のオフグリッドシステム（自家発電システム）販売促進事業
- (2) 電気自動車のソーラー充電・給電システム販売促進事業
- (3) 太陽熱給湯システム販売促進事業
- (4) 営農型太陽光発電売電または自家発電システム販売促進事業
- (5) ソーラーカーステーション設置運営事業

(特記事項)

ソーラーの野だて設置を推奨する。←非メガソーラー・子どもに見える化・メンテしやすい・中古で可
発電効率を上げる廃ガラスリサイクルの敷き詰め材の取り扱いを検討する。

フェンスに使用する竹垣の研究

2. 太陽の熱と光を最大限享受する暮らしづくりのための事業を進める。

その実現のために行うこと

- (6) 内窓・ひさし・高窓設置販売促進事業 **工務店様へのお取次ぎ**

3. 「SDGs 目標 7. すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する」ためポータブルソーラー&蓄電池を最大限普及させる。

その実現のために行うこと

- (7) 小型ソーラー&蓄電池のポータブル電源販売促進事業

4. 「SDGs 目標 11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する」のとりわけ「仙台防災枠組 2015-2030 に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う」ため、ポータブルソーラー&蓄電池を最大限普及させる。また災害リスク軽減に役立つ設備の導入促進を行う。

その実現のために行うこと

- (8) 小型ソーラー&蓄電池のポータブル電源販売促進事業
- (9) 雨水タンク設置販売促進事業
- (10) 通信インフラ整備事業（現在のいわゆるパソコン教室の延長にある事業）

8年後であれば1人1台タブレット。離れて暮らすおばあちゃんと毎日会話できるようなサポート。

【資源調達と再利用・再資源化に関する方針】

5. 「SDG s 目標 12. 持続可能な生産消費形態を確保する」ため、取扱商品の修理・廃棄時の再資源化態勢の確立に努め、事業に使用する物品もなるべく中古品で調達、利用後の再資源化に努めることにより環境負荷を軽減させると同時に低コスト化を進める。

その実現のために行うこと



(11) 取扱商品の修理・修繕・メンテナンス方法の研究、確立と関連事業者と提携関係を構築する。

(12) オフィス一室分の電源をなるべくソーラー由来のポータブル電源で賄う

(13) スキャンしてデジタルデータ化した紙資料の A4 コピー用紙を山陽製紙「PELP!」を利用して再資源化する。

(14) 封筒はなるべく新規既製品は購入せず使用済み封筒の再利用や不用品回収したものの利用、または再生封筒を購入する。

(15) 会合用・商談用衣服はなるべく中古品、またはフェアトレード品から調達する。



(16) ノートパソコン・タブレット・スキャナーなど機器をなるべく中古品で調達する。

(17) オフィス用茶菓子はなるべくフェアトレード品、有機農法の地産品から調達する。

(18) ボールペンは替え芯を調達して新規購入は極力控える。

(19) 紙資料のスキャンによるデジタルデータ化と不用紙の山陽製紙「PELP!」利用による再資源化をパッケージしたサービスを行う。



6. 「SDG s 目標 12. 持続可能な生産消費形態を確保する」のとりわけ「12.2 2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する」ため、商材に関わる鉱物資源（銀・リチウムなど）の需給動向、半導体などの素材の需給動向についての情報収集に努める。

その実現のために行うこと

(20) 銀投資とそのことでわかる銀市場動向の研究

(21) リチウム市場動向の研究

(22) テスラ社の動向研究

(23) 半導体市場の研究

(特記事項)

- ・楽天証券での金・プラチナ・銀積立、低額投資をしながらチャートの随時チェックする
- ・鉱物資源、半導体のリサイクルを含めた国内調達の可能性を情報収集する
- ・鉱物資源調達時に強制労働、児童労働、先住民搾取などがなくないかを情報収集する

7. 「SDG s 目標 12. 持続可能な生産消費形態を確保する」のとりわけ「12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する」のため、太陽光パネル・蓄電池の中古市場・リサイクル市場を確立させる。

その実現のために行うこと

(24) 太陽光パネルの中古市場を確立させる。

(25) 蓄電池（バッテリー）の中古市場を確立させる。

(26) 太陽光パネルのリサイクル市場を確立させる。

(27) 蓄電池の廃棄時リサイクル工程を研究する。

(28) 蓄電池について、防火・火災発生時対策の研究とマニュアル化を行う。

【ワークライフバランスに関する方針】

8. 2030年目標達成し、持続可能で豊かな暮らしの実現のため、ゆっくり体を休める時間、家族や大事な人と過ごす時間、自分ひとりの振り返りの時間、自然を楽しむ時間と調和のとれた仕事の時間のあり方を確立させる。（資源、食料不足が予想されることから、畑地・山林所有しているものから自給することになるのでは。その時間を余裕を持って確保する）

その実現のために行うこと

- (29) 御杖村における森林活用（木材活用）を研究し、所有山林の木を生かす。
- (30) 味噌汁玄米おぼんざい生活の確立
- (31) 整理整頓ルームメイキング
- (32) 御杖村本宅納屋の片付け、リフォーム準備

(特記事項)

・所有山林の木の地域温泉施設の薪ボイラーや大淀町、または松阪市の木質バイオマス発電所への納入態勢を研究

9. 気候変動による食糧危機、エネルギー危機、災害リスクに対する余力を確保するため、規模の大小はどうかあれ、半農生活となるよう時間配分する。

その実現のために行うこと

- (33) 地元の集落営農「アグリ大泉」の大豆づくりと味噌づくり、小麦づくりと素麺づくりを応援（IT支援と広報を担う）
- (34) 菜の花、大豆の栽培
- (35) 橘の植樹

(特記事項)

・日本の固有種である大和橘を枚岡神社に奉納する。

【人財養成・財政基盤確立・社会投資、設備投資に関する方針】

10. 市場創造の実現のために、2030年までに年間粗利600万円（主従事者1名年間手取り120万円、サブ従事者年間手取り120万円（60万円×2名）、投資及び従事者個人積立代120万円、留保120万円、経費120万円）を安定確保させる。

その実現のために行うこと

- (36) 上記事業の新規立ち上げやなど2030年までの年々の規模拡大

11. 「SDGs目標5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う」のとりわけ「5.b 女性の能力強化促進のため、ICTをはじめとする実現技術の活用を強化する」に貢献しながら人材を確保する。その実現のために行うこと

(37) ほっとねっとと共同で「パソコン教室ファシリテーター養成講座」「多様性ワークショップ（人権研修）ファシリテーター養成講座」「お日さま教育ファシリテーター養成講座」を開催し、児童養護施設等を退所した10代女性の自立援助施設「ミモザの家」利用者、ア・マ・テ・ラ・スのスタッフ候補者へのパソコン貸与、手当つき講習を行う。

12. 取扱商品のご利用方法、サービスのご利用方法、業務のあり方など事業に関するあらゆることを誰もが

関係できるよう「標準化」「デジタル化」して共有する。

その実現のために行うこと

(38) 商品のスペックなどの詳細、商品利用方法の詳細を HP や Note にアップする。

(39) 業務一覧、業務マニュアル、日報などをクラウド化する。

【中小企業家同友会に関する方針】

13. 小さな市場創造のビジネスモデルを確立し、豊かな暮らしを実現させるために、同友会理念を共有した様々な規模、業種の会員企業の事例に学ぶ中で、事業の軸となる指針作りを進めることを目的として学びあいの活動に力を入れる。

その実現のために行うこと

(40) 指針づくりと実践

(41) 委員会の仲間を増やす

(42) ブロック会に参加する仲間を増やす

【特定非営利活動法人ほっとねっとに関する方針】

14. 「SDG s 目標 10. 各国内及び各国間の不平等を是正する」のとりわけ

「10.1 2030 年までに、各国の所得下位 40%の所得成長率について、国内平均を上回る数値を漸進的に達成し、持続させる」「10.2 2030 年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位 その他の状況に関わりなく、すべての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する」達成に必要な NPO として、活動を継続させるための仕組みづくりに中心的に関わり、2024 年度をめぐりに次の担い手にバトンタッチできる態勢を整える。人財養成を共同して行うパートナーとしてかかわる。

「SDG s 目標 5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う」のとりわけ「5.4 公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、ならびに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する」に付け加え、家族や社員のボランティア活動を高く評価するしくみづくりを確立させるパートナーとしてかかわる。

その実現のために行うこと

(43) PC 教室ファシリテーター養成講座開催

(44) 人権研修（多様性ワークショップ）ファシリテーター養成講座開催

(45) ミサガづくりワークショップファシリテーター養成講座

(46) 活動一覧作成

(47) 活動一覧別活動マニュアル作成

(48) 過去資料の web 共有・公開

(49) 博物館ガイド新マニュアル作成

(50) 博物館ガイド養成プログラム作成

(51) 博物館ガイド養成講座開催

(52) 博物館ガイド料金改定

(53) 要約筆記マニュアル作成と練習会コミュニティづくり

(54) ほっとねっと Web 再構築

- (55) 中学生向け人権ワークショッププログラム開発
- (56) 多様性ワークショップ（人権研修）営業
- (57) 人権相談マニュアル作成
- (58) 人権相談連携先一覧作成
- (59) ほっとねっとパソコン教室営業
- (60) ほっとねっと会費規定改正
- (61) 役員改正
- (62) 多様性ワークショップ（人権研修）開催
- (63) パソコン教室開催
- (64) 吉野杉箸、リサイクル封筒等物販利益の拡大
- (65) メルマガ発行 月1回
- (66) ほっとねっと FB ページ作成
- (67) 物販取引先の SDGs レポート発行（吉野杉箸 取引先）
- (68) ほっとねっと賛助会員募る
- (69) 次の担い手たちのイベント 21 の見学、インターンシップ

【アースデイ奈良に関する方針】

15. 「SDGs 目標 13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」など、SDGs すべての目標達成とその先に望む「100 年後は毎日がアースデイ」な未来に向けて心をつなぐ様々な活動が出会い、つながり、輪を広げる大事なイベントであり、ア・マ・テ・ラ・スの事業にもプラスとなるものとして重視し、中心を担う次世代を応援できるような形で 2030 年まで年間を通じて関わる。

その実現のために行うこと

- (70) アースデイ活動内容洗い出し
- (71) アースデイ内容・意義の随時発信
- (72) 多様な人が関われる仕組み・しかけづくり

【菜の花プロジェクトに関する方針】

16. 地域エネルギーの自立を主テーマにした、ア・マ・テ・ラ・スの目標に最も近く、きっかけの活動であり、最終的には生活の中心に据えたい活動、専念したい活動として継続して関わる。

その実現のために行うこと

- (73) さくらい菜の花プロジェクトへの参加（広報を担う）
- (74) 菜種・大豆の栽培と栽培農家の拡大
- (75) 奈良県統一ブランド「奈乃葉菜油」の販売
- (76) 県内に搾油プラント導入
- (77) バイオディーゼル燃料づくり
- (78) バイオディーゼル発電の利用（イベントなどにバイオディーゼル発電機のレンタル）
- (79) バイオディーゼル燃料のトラクターなどでの利用
- (80) 菜種石鹼、廃油石鹼の製品化・販売

(特記事項)

- ・国や地域や個人の食料・エネルギーの自立が本質的テーマの一生かけて取り組むに値する取り組みである。
- ・食油用品種「キザキノナタネ」「ナナシキブ」、河川や野原に咲く菜の花＝燃料用 と分けて利用する。

2030年までの目標・計画表										
【市場創造に関する方針】目標・計画										
		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
1	建物のオフグリッドシステム（自家発電システム）販売促進事業	販促見学会	販促見学会	受注4件	受注6件	受注9件	受注14件	受注21件	受注32件	受注48件
2	電気自動車のソーラー充電・給電システム販売促進事業	情報収集	情報収集	提携構築	受注4件	受注6件	受注9件	受注14件	受注21件	受注32件
3	太陽熱給湯システム販売促進事業	情報収集	情報収集	情報収集	提携構築	受注1件	受注2件	受注3件	受注4件	受注5件
4	営農型太陽光発電売電または自家発電システム販売促進事業	販促見学会	販促見学会	販促見学会	受注1件	受注1件	受注1件	受注1件	受注1件	受注1件
5	ソーラーカーステーション設置運営事業	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	提携構築	施工	運営開始
6	内窓・ひさし・高窓設置販売促進事業	お日さま教育	お日さま教育	提携構築	受注2件	受注3件	受注4件	受注5件	受注6件	受注7件
7	小型ソーラー&蓄電池のポータブル電源販売促進事業	受注15件	受注23件	受注35件	受注53件	受注80件	受注120件	受注180件	受注270件	受注405件
8	小型ソーラー&蓄電池のポータブル電源販売促進事業	受注15件	受注23件	受注35件	受注53件	受注80件	受注120件	受注180件	受注270件	受注405件
9	雨水タンク設置販売促進事業	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	提携構築	受注10件	受注10件	受注10件	受注10件
10	通信インフラ整備事業（現在のいわゆるパソコン教室の延長にある事業）	既存4件 新規2件 単発60件	既存6件 新規2件 単発60件	既存8件 単発60件	既存8件 単発60件	既存8件 単発60件	既存8件 単発60件	単発200件	単発200件	単発200件

【資源調達と再利用・再資源化に関する方針】 目標・計画										
		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
11	取扱商品の修理・修繕・メンテナンス方法の研究、確立と関連事業者と提携関係を構築する。	情報収集	情報収集	提携構築	提携構築	取扱5件	取扱5件	取扱10件	取扱10件	取扱15件
12	オフィスイ室分の電源をなるべくソーラー由来のポータブル電源で賄う	1部屋分暖房・照明以外の半日自給	1部屋分の全電源の半日自給	1部屋分の全電源の全日自給	1部屋分の全電源の全日自給	1部屋分の全電源の全日自給	1部屋分の全電源の全日自給	1部屋分の全電源の全日自給	1部屋分の全電源の全日自給	1小屋分の全電源の全日自給
13	スキャンしてデジタルデータ化した紙資料のA4コピー用紙を山陽製紙「PELP！」を利用して再資源化する。	年予算 4000円	年予算 4000円	年予算 4000円	年予算 4000円	年予算 4000円	年予算 4000円	年予算 4000円	年予算 4000円	年予算 4000円
14	封筒はなるべく新規既製品は購入せず使用済み封筒の再利用や不用品回収したものの利用、または再生封筒を購入	年予算 2000円	年予算 2000円	年予算 2000円	年予算 6000円	年予算 6000円	年予算 6000円	年予算 6000円	年予算 6000円	年予算 6000円
15	会合用・商談用衣服はなるべく中古品、またはフェアトレード品から調達	年予算 20000円	年予算 20000円	年予算 20000円	年予算 20000円	年予算 20000円	年予算 20000円	年予算 20000円	年予算 20000円	年予算 20000円
16	ノートパソコン・タブレット・スキャナーなど機器をなるべく中古品で調達	年予算 50000円	年予算 50000円	年予算 50000円	年予算 50000円	年予算 50000円	年予算 50000円	年予算 50000円	年予算 50000円	年予算 50000円
17	オフィス用茶菓子はなるべくフェアトレード品、有機農法の地産品から調達	年予算 30000円	年予算 30000円	年予算 30000円	年予算 30000円	年予算 30000円	年予算 30000円	年予算 30000円	年予算 30000円	年予算 30000円
18	ボールペンは替え芯を調達して新規購入は極力控える。	年予算 200円	年予算 200円	年予算 200円	年予算 200円	年予算 200円	年予算 200円	年予算 200円	年予算 200円	年予算 200円
19	紙資料のスキャンによるデジタルデータ化と不用紙の山陽製紙「PELP！」利用による再資源化をパッケージしたサービスを行う。	受注4件	受注6件	受注9件	受注14件	受注21件	受注32件	受注48件	受注48件	受注48件

【特定非営利活動法人ほっとねっとに関する方針】		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
53	要約筆記マニュアル作成と練習会コミュニティづくり	随時開催	随時開催							
54	ほっとねっとWeb再構築	随時	随時							
55	中学生向け人権ワークショッププログラム開発	作製	開始							
56	多様性ワークショップ（人権研修）営業	随時	随時							
57	人権相談マニュアル作成		作製							
58	人権相談連携先一覧作成		作製							
59	ほっとねっとパソコン教室営業	随時	随時							
60	ほっとねっと会費規定改正	3月4月改定								
61	役員改正	3月4月改定								
62	多様性ワークショップ（人権研修）開催	10回開催	10回開催							
63	パソコン教室開催	10回開催	10回開催							
64	吉野杉箸、リサイクル封筒等物販利益の拡大	随時	随時							
65	メルマガ発行	月1回	月1回							
66	ほっとねっとFBページ作成	5月作成								
67	物販取引先SDGsレポート発行（吉野杉箸取引先）		6月以降作成							
68	ほっとねっと賛助会員募る	随時	随時							
69	次の担い手たちのイベント21の見学、インターンシップ		他のNPOとの共同体で実施							

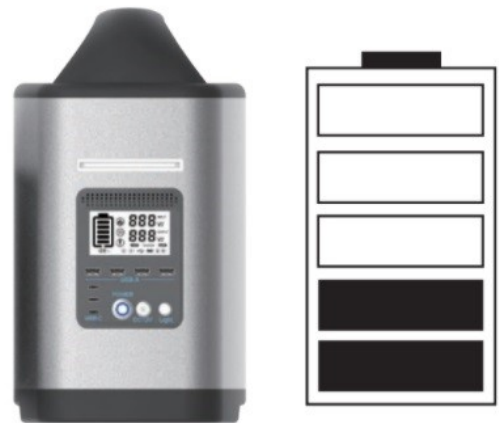
【アースデイ奈良に関する方針】 目標・計画										
		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
70	アースデイ活動内容 洗い出し	随時	随時							
71	アースデイ内容・意 義の随時発信	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時
72	多様な人が関われる 仕組み・しかけづく り	随時	随時	随時	随時	随時	随時			
【菜の花プロジェクトに関する方針】 目標・計画										
		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
73	さくらい菜の花プロ ジェクトへの参加 (広報を担う)	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時
74	菜種・大豆の栽培と 栽培農家の拡大	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時
75	奈良県統一ブランド 「奈乃葉菜油」の販 売	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	施工	運用開 始
76	県内に搾油プラント 導入	情報収 集	情報収 集	情報収 集	情報収 集	提携構 築	提携構 築	設計	機器導 入	運用開 始
77	バイオディーゼル燃 料づくり	情報収 集	情報収 集	情報収 集	情報収 集	提携構 築	提携構 築	提携構 築	提携構 築	提携構 築
78	バイオディーゼル発 電の利用（イベント などにバイオディー ゼル発電機のレンタ ル）	情報収 集	情報収 集	情報収 集	情報収 集	提携構 築	提携構 築	提携構 築	提携構 築	運用開 始
79	バイオディーゼル燃 料のトラクターなど での利用	情報収 集	情報収 集	情報収 集	情報収 集	提携構 築	提携構 築	提携構 築	提携構 築	運用開 始
80	菜種石鹼、廃油石鹼 の製品化・販売	情報収 集	情報収 集	情報収 集	情報収 集	提携構 築	提携構 築	提携構 築	販売	販売

2022 年単年度 市場創造計画

リノック社製ポータブルソーター&蓄電池システム「FEM-PB1600」を新規重点商材として販促する。



出力：320W



容量：1670Wh

セイキ社製 自家発電システム「eNeei」(エニーアイ) 見学会を実施する。

